



例えばベランダに植物を置いてみるというささやかな行動、
それだけで五感を通して身体が反応し健康寿命が活性化する...それがガーデンセラピーの第一歩
私たちは、ガーデンセラピーに関する学術的研究を推進し、
健康寿命を延伸させるとともにその成果を多くの皆様に提供する団体です。

一般社団法人
日本ガーデンセラピー協会

私たちはガーデンセラピーを 学術的なヘルスケア療法として体系化し、 すべての人々が「健康寿命」を 享受できる社会を実現します

当協会設立の趣意として

ガーデンの語源は古代ヘブライ語で、ガル(囲む)+エデン(楽園)すなわち囲われたエデンだと言われています。私達の先人は囲われた楽園で、身近にある自然を五感で受け止め、命を繋いで来ました。時代が進み、文明が発展して近代化効率化が進んだ結果、物質的には恵まれた生活を送れるようになりましたが、一方で自然から切り離されたライフスタイルが引き起こす様々な疾病、認知症やうつ、癌をはじめとする生活習慣病は増加の一途をたどっており、現在の深刻な社会問題になっています。

そのような中で欧米諸国では、ガーデンの有効性に早くから着目、病院にガーデンを作り、患者さんに滞在してもらうことによりストレスを改善したり、回復を早めることに応用して

います。また、ドイツでは住宅にガーデンを作ることで補助金を市民に支払う制度も始まり、医療費の削減に貢献しています。我が国においては、人と自然は対立するものではなく、元々一体化している、全ての自然に神が宿るという思想が根底にありました。そして、単に自然の一部を切り取った存在としてではなく、精神的、哲学的な意味もガーデン=日本庭園に付与してきた稀有な自然観でガーデンと向き合ってきた歴史があります。

もう一度ガーデンと人との関係を様々な角度から見直し、特に人の心身に与える影響を科学的医学的に検証、ガーデンの有効性を多くの人に伝えることを目的として日本ガーデンセラピー協会は設立されました。

我が国におけるガーデンセラピーの現状

日本人の平均寿命は、世界のトップクラスで長寿国といわれています。しかしながら、健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)と平均寿命には大きな差があり、厚生労働省の集計によると、男女とも10年程度は誰かの支援や介護を受けながら生きているという現実があります。

また、日本の現在の認知症患者数は2012年の時点で約462万人です。この数は65歳以上の高齢者の約7人に1人という、大変大きな数です。しかも、軽度認知障害と呼ばれる認知症の前駆状態だと推計される人は400万人を数え、これを含めれば高齢者の実に4人に1人が、認知症またはその予備軍ということになります。

更に、生活習慣病の患者数も増えていきます。2014年の厚生労働省調査によれば、日本の20歳以上の成人人口が約1億300万人の実に16%が生活習慣病にかかっています。当然、病院で診察を受ける65歳以上の高齢者の数も急増しており、医療費を含む社会保障関連費は極めて大きな社会問題となっています。

西洋医学がもたらした医療の進歩や薬の効果は絶大なものがあり、対症療法として非常に強力です。しかし、こうした医療や薬の恩恵は、病気にならなければ受けられません。そもそも病気にならないようにする、予防するというところに目を向け、病名はないけれども健康ではない、何となく体調が不良で、心身とも健康とは感じられない「未病」の人の健康を維持し、増進することが今求められています。

「ガーデンセラピー」とは

「ガーデンセラピー」とは、人の健康に対する庭の有効性を改めて確認し、庭とのさまざまな関わりの中で心身を整え、自己治癒力を高めながら健康な暮らしと健康寿命の増進を実現する“6つの療法”の総称です。

そして、私たち『一般社団法人日本ガーデンセラピー協会』は、「ガーデンセラピー」を構成する6つの療法について産・官・学で協同し、研究・教育・啓蒙活動を行い、高齢化の時代において日頃から健康を考え、予防医学の観点から自己治癒力を高め、心身ともに豊かな住まい方、ライフスタイルをつくりあげていくことを目的としています。



当協会の活動内容

◆研究活動

- ・ガーデンセラピーの研究
 - 住まい方療法・芳香療法・食事療法・園芸療法・芸術療法・聴覚療法
- ・一般家庭や医療介護施設におけるのガーデンセラピーの実証実験
- ・海外のガーデンセラピーの事例研究
- ・関連する団体との交流会・勉強会の実施

◆資格認定制度の提供

- ・ガーデンセラピー検定の実施
 - ガーデンセラピーを通して人の心身の健康のために用いる知識
- ※実施内容は認知症とアロマセラピー、ハーブの効用、園芸療法の方法など

◆各種セミナー・教室の開催

- ・個人会員向け・会員向けの各種セミナー・教室の開催
 - 寄せ植え教室、園芸教室など
- ・個人会員向け/会員向けの森林浴やイングリッシュガーデンなどの見学ツアーの実施
- ・個人会員向け・会員向けの情報交換会

◆“ガーデンセラピー”に関する情報の発信

- ・年2回の機関誌の発行(研究成果の報告など)
- ・専門展示会への出展

資格制度の導入と普及

五感を刺激することで脳の活性化させ、身体全体の健康を維持する療法であるガーデンセラピーを理解し正しく実践するには、ガーデニングの基礎的なスキルはもちろん、医学的な知識も必要です。当協会では多くの人々がそうした知識やノウハウを無理なく学習するために、習得度合いを「級」として設定した検定プログラムを導入します。

協会会員の募集

◆法人会員A

- ・会費5,000円/月(年間60,000円)
- ・協会HPへの御社名掲載
- ・テーマごとの、専門講師によるセミナーへの参加
- ・講師陣、他会員との情報交換会への参加
- ・異業種ビジネスマッチング

◆法人会員B(個人事業もしくは10人未満の企業)

- ・会費2,000円/月(年間24,000円)
- ・テーマごとの、専門講師によるセミナーへの参加
- ・講師陣、他会員との情報交換会への参加

◆スペシャリスト会員(大学講師、園芸療法士などの個人方)

- ・会費1,000円/月(年間12,000円)
- ・他会員との情報交換会への参加
- ・協会認定教室の開催

◆個人会員

- ・会費無料
- ・各種セミナーのご案内

◆自治体会員

- ・会費無料
- ・各種セミナーのご案内

一般社団法人 日本ガーデンセラピー協会 役員体制／顧問団

役員

会長 塩田 清二	星薬科大学特任教授・医学博士 日本アロマセラピー学会理事長 日本統合医療学会業務執行理事 一般社団法人美しく老いる会代表理事 SHIODAライフサイエンス株式会社 代表取締役社長
理事長 高岡 伸夫	株式会社タカショー代表取締役社長 一般社団法人美しく老いる会理事
理事 川人 紫	SHIODAライフサイエンス株式会社 代表取締役副社長 学術博士
理事 富島 三貴	熊本・みゆきの里会長
理事 永井 秀之	株式会社イーエージェンシー取締役会長 一般社団法人美しく老いる会理事
理事 分部 日出男	株式会社レイ相談役 一般社団法人美しく老いる会理事
監事 栗原 義英	A&C総合事務所 司法書士

顧問(五十音順)

渥美 和彦	東京大学医学部名誉教授、日本統合医療学会名誉理事長
阿部 容子	ガーデンデザイナー
岩崎 寛	千葉大学大学院園芸学専攻准教授、園芸療法士
宇田川 僚一	公益社団法人日本アロマ環境協会理事長
金谷 年展	東京工業大学特任教授、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会事務局長
小池 弘人	小池統合医療クリニック院長、統合医療カンファレンス協会代表理事
澤田 秀雄	株式会社エイチ・アイ・エス代表取締役会長
館 逸志	地域活性化学会副会長
服部 幸應	学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長、食育研究者、医学博士
百瀬 伸夫	一般社団法人IKIGAIプロジェクト理事
八木 波奈子	「BISES」編集長
涌井 雅之	造園家、東京都市大学教授